



はじめに

横須賀市長

蒲谷 亮一

横須賀市においてもまもなく、市民の4人に1人が65歳以上の高齢者という時代に突入します。

社会全体で高齢者を支える仕組みとして、平成12年に介護保険制度が発足し9年がたちました。その間にも生活形態は多様化し、ひとり暮らしの方や高齢者だけの世帯、さまざまな支援が必要な高齢者が増加しており、介護サービスの担い手として多くの力を必要とするようになりました。また、高齢者を取り巻く課題への対応はさらに強く求められるようになっていきます。

高齢者が年齢を重ねても住みなれた地域で、生き生きと暮らしていくためには、介護を必要とする前から介護予防に取り組み、地域の方や家族など多くの方々とともに支えあう社会を構築していくことが必要となります。

このたび平成21年度から平成23年度までの3年間を計画期間とした「よこすか高齢者保健福祉計画（第4期介護保険事業計画を含む）」を策定しました。

高齢者が生きがいを持って暮らし、長寿であることを喜べるまちを目指し、市民の皆さまが実感できる「元気な横須賀」を実現するため、この計画の推進に努めてまいります。

結びに計画の策定に当たり、貴重なご意見をいただきました横須賀市社会福祉審議会の皆さまをはじめ、多くの市民の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

平成21年(2009年)2月